



# 平成31年5月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年1月10日

上場会社名 Shinwa Wise Holdings株式会社  
 コード番号 2437 URL <http://www.shinwa-wise.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中川 健治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 益戸 佳治

TEL 03-5537-8024

四半期報告書提出予定日 平成31年1月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年5月期第2四半期の連結業績(平成30年6月1日～平成30年11月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年5月期第2四半期	1,962	62.1	50		31		10	
30年5月期第2四半期	1,210	32.5	38		65		73	

(注) 包括利益 31年5月期第2四半期 17百万円 ( %) 30年5月期第2四半期 73百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年5月期第2四半期	1.57	
30年5月期第2四半期	11.76	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年5月期第2四半期	5,228	1,961	37.0	293.57
30年5月期	6,120	1,906	30.7	293.65

(参考) 自己資本 31年5月期第2四半期 1,933百万円 30年5月期 1,878百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年5月期		0.00		7.20	7.20
31年5月期		0.00			
31年5月期(予想)				7.20	7.20

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成31年5月期の連結業績予想(平成30年6月1日～平成31年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,000	7.9	74		60		50		7.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

通期の業績予想値の修正につきましては、本日(平成31年1月10日)公表いたしました「平成31年5月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想値と実績値との差異及び平成31年5月期通期連結業績予想値の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年5月期2Q	7,439,900 株	30年5月期	7,250,900 株
期末自己株式数	31年5月期2Q	852,800 株	30年5月期	852,800 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年5月期2Q	6,470,416 株	30年5月期2Q	6,216,034 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(追加情報) .....	10
(セグメント情報等) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成30年6月1日～平成30年11月30日）におけるわが国の経済は、雇用や所得環境の改善が継続し、また各種政策の効果もあって、緩やかな回復基調にありました。しかしながら、米中貿易摩擦の影響や世界経済の不確実性の問題、金融資本市場の変動懸念や世界的な地政学リスクの影響を受け、先行きは不透明な状況にあります。

このような環境のもと、当社グループは、オークション関連事業において高額美術品を中心とした優良作品のオークションへの出品及び富裕層を中心とした美術品コレクターのオークションへの参加促進に努めました。また、エネルギー関連事業では低圧型太陽光発電施設販売事業に引き続き集中して取り組んだ他、マレーシアにおけるPKS事業の見直し等、グループ全体の安定的な収益の早期確保に向けた体制の構築に努めました。

セグメントの業績は次のとおりです。

## ①オークション関連事業

当第2四半期連結累計期間は、取扱高2,840,926千円（前年同期間比44.6%増）、売上高1,369,641千円（前年同期間比63.6%増）、セグメント利益109,373千円（前年同期間比239.4%増）となりました。

種別の業績は次のとおりです。

種 別	第30期第2四半期連結累計期間							
	自 平成30年6月1日 至 平成30年11月30日							
	取扱高 (千円)	前年比 (%)	売上高 (千円)	前年比 (%)	オークション 開催数	オークション 出品数	オークション 落札数	落札率 (%)
近代美術オークション	479,531	△30.2	82,027	△42.6	2	222	175	78.8
近代陶芸オークション	224,275	55.0	47,252	57.0	2	421	387	91.9
近代美術Part II オークション	65,885	△57.1	14,734	△59.8	2	443	357	80.6
その他オークション	889,776	120.6	110,340	45.2	5	1,337	969	72.5
オークション事業合計	1,659,467	19.5	254,355	△11.0	11	2,423	1,888	77.9
プライベートセール	1,177,787	113.4	1,103,267	109.9				
その他	3,671	△85.1	12,017	△53.2				
オークション関連 その他事業合計	1,181,458	104.9	1,115,285	102.3				
オークション関連事業合計	2,840,926	44.6	1,369,641	63.6				

(注) 1. 取扱高の前年比と売上高の前年比の乖離の大きな要因のひとつに、商品売上高の増減があります。商品売上高は、オークション落札価額に対する手数料収入、カタログ収入、年会費等と同様に売上高を構成する要素のひとつであり、在庫商品を販売した場合、その販売価格（オークションでの落札の場合には落札価額）を商品売上高として、売上高に計上することとしております。

2. その他オークションは、出品の状況により随時開催しております。

## i) オークション事業

当第2四半期連結累計期間は、オークション会場改装工事及びShinwa Priveの画廊スペース新設工事を行っており、オークションの開催回数は、前年同期間より2回少ない11回でした。内訳は、近代美術オークション、近代陶芸オークション及び近代美術Part II オークションを各2回、Bags/Jewellery&Watchesオークション、西洋美術オークション、ワインオークションの他、新たなジャンルとしてMANGAオークション、またリニューアル記念特別オークションとして「Y氏コレクション - ART JUNGLE」を各1回です。

近代美術オークションは、前年同期比で1開催少なかったため、出品点数39.3%減、落札点数41.3%減となりましたが、エステイメイト下限合計額に対する落札価額合計額の比率は平均で124.3%と前年同期比で平均8%以上上昇して推移しており、平均落札単価も前年同期比で20.9%と大幅に増加いたしました。

近代陶芸オークションは、前年同期比で出品点数9.9%増、落札点数2.9%増となりました。当第2四半期連結累計期間も古美術の取り扱いが引き続き好調であったことから、平均落札単価は前年同期比で48.8%増加し、また、エスティメイト下限合計額に対する落札価額合計額の比率も平均で157.0%と高水準で推移いたしました。

近代美術Part IIオークションは、前年同期比で1開催少なかったため、出品点数45.5%減、落札点数51.7%減となりました。平均落札単価も前年同期比で11.3%減少しましたが、エスティメイト下限合計額に対する落札価額合計額の比率は、前年同期比で平均10%以上上昇し、平均144.6%で推移いたしました。

その他、ワインオークションも引き続き好調を保った他、当第2四半期連結累計期間は、新たなジャンルとしてMANGAオークションを1回開催しました。また、オークション会場リニューアル及びShinwa Priveの画廊スペース新設記念特別オークションとして「Y氏コレクション - ART JUNGLE」を開催したところ、取扱高は7億円に迫り、落札率も92.9%となるなど高い実績を上げました。

## ii) オークション関連その他事業

プライベートセール部門では、新たにShinwa Priveの画廊スペースを設け、お客様のニーズにきめ細やかに対応できる体制を整え、高額作品の積極的な取り扱いに努めました。当第2四半期連結累計期間は大型案件の成約があったため、前年同期間との比較で、取扱高は113.4%増、売上高は109.9%増とともに大幅に増加いたしました。

その他、高額ダイヤモンド販売事業は、引き続き安定した売上高で推移いたしました。

## ②エネルギー関連事業

50kW級の低圧型太陽光発電施設販売事業では、利回り商品としての需要により、当第2四半期連結累計期間は、15基を販売いたしました。しかしながら、経済産業省による電力の買取価格は継続的に引き下げられており、収益目線で投資対象となる新たな案件の確保が難しくなっております。

マレーシアにおけるPKS事業においては、当第2四半期連結累計期間に1万トンを販売するとともに、仕入原価等の見直しに取り組んだ結果、赤字幅は縮小しましたが、依然改善が必要な状況であり、継続して取り組んでまいります。

その他、子会社保有の太陽光発電施設による売電事業等により、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比50.3%増の546,327千円、セグメント損失は、28,970千円（前年は67,735千円のセグメント損失）となりました。

## ③その他

ウェルスマネジメント分野における米国テキサス州の中古不動産物件紹介事業は、当第2四半期連結累計期間は8件の販売実績となりました。その他、ミャンマー連邦共和国でのマイクロファイナンス事業は、順調に推移しております。また、各事業の販売費及び一般管理費の見直しを行う等、グループ全体の利益体質化に向けた改善に取り組みました。

以上により、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,962,966千円（前年同期比62.1%増）、営業利益50,084千円（前年同期間は38,170千円の営業損失）、経常利益31,458千円（前年同期間は65,435千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失10,177千円（前年同期間は73,079千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①財政状態の分析

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は5,228,718千円となり、前連結会計年度末に比べ、892,104千円減少いたしました。その主な内訳は現金及び預金の減少723,454千円、売掛金の減少224,463千円、オークション未収入金の減少185,654千円と、商品の増加322,886千円によるものであります。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は3,267,702千円となり、前連結会計年度末に比べ、946,141千円減少いたしました。その主な内訳はオークション未払金の減少222,188千円、短期借入金の減少399,950千円と長期借入金の減少104,086千円によるものであります。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,961,015千円となり、前連結会計年度末に比べ、54,039千円増加いたしました。その主な内訳は資本金の増加59,361千円、資本剰余金の増加59,361千円と利益剰余金の減少56,243千円によるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は前連結会計年度末より535,571千円減少（前年同期間は460,852千円の増加）し、785,578千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は182,428千円（前年同期間は956,525千円の獲得）となりました。これは主に売上債権の減少額218,917千円及びオークション未収入金の減少額185,654千円、前渡金の減少額92,233千円による資金増加と、たな卸資産の増加額322,945千円、オークション未払金の減少額222,188千円及びその他124,049千円による資金減少によるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果獲得した資金は129,735千円（前年同期間は8,407千円の獲得）となりました。これは主に定期預金の払戻による収入630,015千円による資金増加と、定期預金の預入による支出442,131千円、有形固定資産の取得による支出55,482千円の資金減少によるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は481,743千円（前年同期間は504,714千円の使用）となりました。これは主に長期借入れによる収入100,000千円及び株式の発行による収入118,002千円による資金増加と短期借入金の純減額399,950千円の支出、長期借入金の返済による支出204,086千円及び配当金の支払額45,339千円による資金減少によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値の差異及び通期の業績予想値の修正につきましては、本日（平成31年1月10日）公表いたしました「平成31年5月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想値と実績値との差異及び平成31年5月期通期連結業績予想値の修正に関するお知らせ」に記載のとおりであります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,103,966	1,380,512
売掛金	420,699	196,236
オークション未収入金	269,475	83,821
商品	1,226,671	1,549,558
前渡金	393,484	301,251
その他	219,869	193,529
貸倒引当金	△9	△9
流動資産合計	4,634,158	3,704,898
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,853	71,572
機械装置及び運搬具(純額)	906,273	873,871
土地	122,960	122,960
建設仮勘定	36,466	-
その他(純額)	12,733	32,583
有形固定資産合計	1,083,287	1,100,987
無形固定資産		
ソフトウェア	12,791	10,941
無形固定資産合計	12,791	10,941
投資その他の資産		
関係会社株式	70,600	70,600
その他	335,331	356,668
貸倒引当金	△15,347	△15,378
投資その他の資産合計	390,583	411,890
固定資産合計	1,486,662	1,523,819
資産合計	6,120,821	5,228,718
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	99,463	48,332
オークション未払金	498,114	275,926
短期借入金	1,966,500	1,566,550
1年内償還予定の社債	44,000	44,000
1年内返済予定の長期借入金	240,672	142,752
未払法人税等	44,047	62,890
賞与引当金	11,425	16,894
役員賞与引当金	6,739	-
その他	296,255	157,792
流動負債合計	3,207,216	2,315,137
固定負債		
社債	84,000	62,000
長期借入金	235,412	229,246
退職給付に係る負債	33,600	34,750
長期割賦未払金	557,378	530,414
その他	96,237	96,154
固定負債合計	1,006,627	952,565
負債合計	4,213,844	3,267,702

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,073,780	1,133,142
資本剰余金	680,020	739,381
利益剰余金	349,607	293,363
自己株式	△221,063	△221,063
株主資本合計	1,882,345	1,944,824
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△3,569	△11,064
その他の包括利益累計額合計	△3,569	△11,064
新株予約権	3,419	2,698
非支配株主持分	24,781	24,557
純資産合計	1,906,976	1,961,015
負債純資産合計	6,120,821	5,228,718

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年6月1日 至平成30年11月30日)
売上高	1,210,951	1,962,966
売上原価	724,827	1,406,823
売上総利益	486,123	556,142
販売費及び一般管理費	524,294	506,057
営業利益又は営業損失(△)	△38,170	50,084
営業外収益		
受取利息	207	315
為替差益	650	4,080
未払配当金除斥益	137	137
デリバティブ評価益	1,393	848
法人税等還付加算金	1,423	-
その他	1,322	1,080
営業外収益合計	5,135	6,463
営業外費用		
支払利息	17,783	18,546
支払手数料	14,616	6,471
その他	0	71
営業外費用合計	32,400	25,089
経常利益又は経常損失(△)	△65,435	31,458
特別利益		
固定資産売却益	-	156
特別利益合計	-	156
特別損失		
固定資産除却損	663	157
減損損失	8,271	-
事務所移転費用	12,299	-
特別損失合計	21,233	157
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△86,669	31,456
法人税、住民税及び事業税	65,365	56,598
法人税等調整額	△78,947	△16,262
法人税等合計	△13,581	40,336
四半期純損失(△)	△73,087	△8,879
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7	1,297
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△73,079	△10,177

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年6月1日 至平成30年11月30日)
四半期純損失(△)	△73,087	△8,879
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△22	△9,016
その他の包括利益合計	△22	△9,016
四半期包括利益	△73,109	△17,896
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△73,172	△17,672
非支配株主に係る四半期包括利益	63	△224

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年6月1日 至平成30年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△86,669	31,456
減価償却費	34,157	39,474
減損損失	8,271	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	69	30
賞与引当金の増減額(△は減少)	△30,034	5,469
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△48,193	△6,739
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△7,250	1,150
受取利息及び受取配当金	△208	△316
支払利息	17,783	18,546
売上債権の増減額(△は増加)	1,599,233	218,917
オークション未収入金の増減額(△は増加)	△175,898	185,654
たな卸資産の増減額(△は増加)	△165,717	△322,945
前渡金の増減額(△は増加)	△391,393	92,233
仕入債務の増減額(△は減少)	△83,454	△50,909
オークション未払金の増減額(△は減少)	197,195	△222,188
デリバティブ評価損益(△は益)	△1,393	△848
有形固定資産除却損	705	157
その他	65,512	△124,049
小計	932,715	△134,904
利息及び配当金の受取額	216	334
利息の支払額	△17,812	△18,321
法人税等の支払額	41,406	△29,536
営業活動によるキャッシュ・フロー	956,525	△182,428
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△20,500	-
関係会社株式の取得による支出	△40,990	-
有形固定資産の取得による支出	△5,422	△55,482
定期預金の預入による支出	△564,104	△442,131
定期預金の払戻による収入	810,500	630,015
保険積立金の積立による支出	-	△5,155
敷金及び保証金の回収による収入	-	2,490
その他の支出	△171,074	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	8,407	129,735
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△786,200	△399,950
長期借入れによる収入	320,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△284,886	△204,086
社債の発行による収入	147,085	-
社債の償還による支出	-	△22,000
株式の発行による収入	137,442	118,002
配当金の支払額	△43,336	△45,339
自己株式の処分による収入	3,530	-
セール・アンド・リースバックによる収入	27,893	-
セール・アンド・リースバックによる支出	-	△1,407
セールアンド割賦バック取引による支出	△26,963	△26,963
新株予約権の発行による収入	720	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△504,714	△481,743
現金及び現金同等物に係る換算差額	633	△1,134
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	460,852	△535,571
現金及び現金同等物の期首残高	606,922	1,321,150
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,067,775	785,578

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間において、新株予約権の行使により資本金が59,361千円増加、資本剰余金が59,361千円増加いたしました。これにより当第2四半期連結会計期間末において、資本金が1,133,142千円、資本剰余金が739,381千円となっております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年6月1日至平成29年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 財務諸表計上額
	オークション 関連事業	エネルギー 関連事業	計				
売上高	836,975	363,442	1,200,417	10,533	1,210,951	—	1,210,951
セグメント 利益又は損 失(△)	32,225	△67,735	△35,509	△2,660	△38,170	—	△38,170

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、医療機関向け支援事業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「エネルギー関連事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては8,271千円であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年6月1日至平成30年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 財務諸表計上額
	オークション 関連事業	エネルギー 関連事業	計				
売上高	1,369,641	546,327	1,915,968	46,997	1,962,966	—	1,962,966
セグメント 利益又は損 失(△)	109,373	△28,970	80,403	26,037	106,441	△56,356	50,084

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、医療機関向け支援事業、海外不動産事業及びマイクロファイナンス事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△56,356千円であります。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。